

企業版ふるさと納税を活用した e スポーツクラブが始まりました

令和 5 年 7 月 31 日、株式会社サードウェーブ様（東京都）より、500 万円の企業版ふるさと納税をしていただきました。株式会社サードウェーブ様は、昨年 7 月に宮崎県にも初出店されたパソコンショップチェーン「ドスパラ」を全国に展開し、コンピューター機器などの企画・製造・販売などを扱う企業です。

町では、この度のご寄付を活用し、「高鍋町まち・ひと・しごと創生推進事業」として、蚊口地区のコワーキングサロン VIVA CAGUCCI を活動場所として高鍋 e スポーツクラブを開講しました。

高鍋 e スポーツクラブは、次世代を担う子どもたちに新しい活動の場と専門的な指導を提供する地域密着型の取り組みです。受講生は、今求められているデジタル人材に必要な IT スキルとして、情報通信技術（ICT）に関する知識やスキル、ネットリテラシー、情報モラルなど幅広い内容を学び、資格取得を目指すとともに、e スポーツのプレイを通して戦略的思考やチームワーク、コミュニケーション能力の向上を図ることができます。



宝くじの助成金で整備されました

コミュニティ助成事業は、コミュニティの健全な発展を図るため、一般財団法人自治総合センターが宝くじの受託事業収入を財源として行っています。

本町では、令和 5 年度に山下自治公民館と馬場原地区公民館において次の備品が整備され、地域コミュニティ活動に活用されています。

【山下自治公民館】

机、椅子、ブロワ、草刈り機、一輪車、物置、座椅子、フラットウォーカー、スカットポールセット、ターゲットゲーム、扇風機、掃除機、クーラー、冷蔵庫ほか

【馬場原地区公民館】

冷蔵庫、掃除機、クーラー、カラオケセット、テレビ、物置、椅子、机、加湿空気清浄機、ほか



県営発電所周辺地域振興事業で整備されました

県営発電所周辺地域振興事業は、省エネルギー機器の導入や地域の維持に関することなど、地域の振興に資するとともに、電気事業に対する理解を促進するため、宮崎県企業局が行っています。

本町では、令和 5 年度にこの事業を活用し、災害時の備えとしてスポットクーラー 13 台を導入しました。このスポットクーラーは、台風などの災害時に開設される避難所において、避難者が過ごしやすい環境整備に活用されます。

